

長い間、地球は温暖化しているのか?異常気象は温暖化のせいなのかという論争がありました。アメリカのトランプ前大統領のように、地球温暖化を疑問視する人々に対し、COP27では「異常気象は温暖化のせい」であるとコンピュータの飛躍的な速度アップを元に下表の「イベント・アトリビューション」という手法によって科学的に決着がつけられたことも報告されています。WMO(世界気象機関)は報告書で2015~22年が観測史上最も気温が高い8年間にわたる分析結果を示し世界の海面上昇幅も過去最高と公表、南米では数年前から干ばつで水力発電が機能しなくなり、アマゾンを抱えるブラジルでも水力発電が使用不能で電力は、石炭火力に変更しています。電力だけでなく、農業にも水不足は深刻な影響を与えています。「異常気象は新たな日常」と世界気象機関の事務局長が述べる

「Eジプトで開催されたCOP27で異常気象の原因が決着がつく。」

温暖化の原因が「異常気象」で決着した!

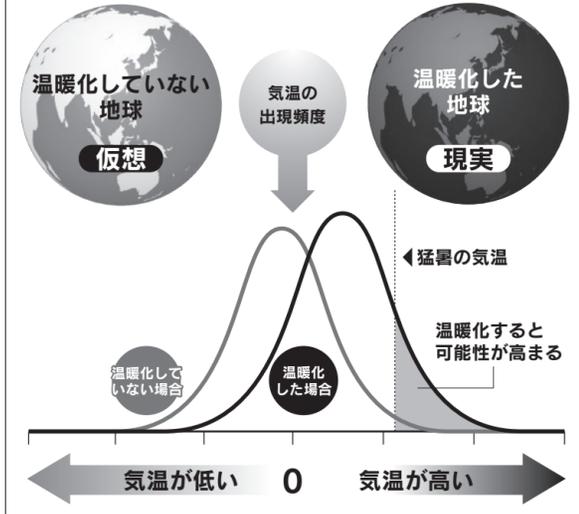
コンピュータの計算速度の飛躍的な進歩で地球温暖化と否温暖化が確認できるようになった。Eジプトで開催された「第27回国連気候変動枠組み条約締結国会議」(COP27)終了!

ひこうき雲

発行所 株式会社 松下孝建設
 発行人 松下孝行
 編集責任 齋藤恭誠
 ■本社
 〒891-0108
 鹿児島市中山1丁目14-29
 TEL 099-267-7594
 ☎ 0120-079-089

イベント・アトリビューションによる比較

2つの地球をコンピュータで比較



温暖化で被害が拡大したとされる主な例

- 2010年 ロシアで異常気象
- 2016年 インドの猛暑で気温51度を記録
- 2017年 福岡県など九州北部で豪雨
- 2018年 広島県など西日本で豪雨
- 2018年 埼玉県熊谷市で41.1度を記録
- 2021年 北米太平洋で熱波、カナダ西部で49.6度
- 2021年 ドイツなどの豪雨で死者200人超
- 2022年 日本で6月下旬から7月初旬に40度を超える異例の猛暑
- 2022年 英国で気温40度超の熱波

温暖化で被害が拡大したとされる主な例... (text continues with details of the examples listed above)

とともに、グテレス国連事務総長も「私たちは気候変動地獄へと向かう高速道路をアクセルを踏んだまま走っている」と温暖化被害国に対し、対応を求めた。コンピュータの発達で科学の視点をもちこみ、COPやG

20のような国際会議に影響を与えているにもかかわらず、世界的な削減「や」先進国の支援が必要」など経済大国の中国や重要なスタンスのインドなどの対応が鈍いようです。

新手法の研究で異常気象は温暖化で起こりやすくなるを説明。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)が21年に公表した「人為的な温暖化を疑う余地がない」と断言する背景も新手法による研究で、本年6月下旬から7月初めに記録した日本各地の記録的な高温は温暖化によ

なぜ、温暖化は容認されずに、いつまでも誤解され続けるのか? 温暖化の議論は、熱波や豪雨が頻りに発生している原因なのか、たまたま偶然起こった自然現象なのか判断が難しく、アメリカのトランプ大統領は、温暖化はフェイクニュースだとパリ協定を脱会してしまいました。

最後に異常気象と温暖化の関連を解き明かす新手法「イベント・アトリビューション」について簡単に述べてみます。異常気象の発生確率が少なくなる点です。先に述べた通り、観測データに現れる天気は、無数にあり得る天気の中の一つの偶然です。そこで、気候モデルを使って、その時々の場所にも起こり得た数々の偶然、いわゆる「パラレルワールド」を可視化する試みを行います。多数のパラレルワールドの中で、今回の異常な気象が発生している世界がいくつあるかを数えることで、その異常気象がどのくらいの確率で起こったのかを数値で表すことができます。さらにモデルを用いると、人間活動による気候への影響をモデルから取り除いて、温暖化が起これなかった場合の仮想の世界を作り出すことができます。この仮想世界にもパラレルワールドが存在します。同様の手法で発生確率を見積もり、温暖化が存在する世界と比較することで、地球温暖化が異常気象の発生確率をどの程度変化させているかを推定することが可能になります。このような試みを「イベント・アトリビューション」と呼びます。松下孝建設は異常気象にも負けない住宅を提



て発生確率が240倍に高まっていると気象庁気象研究所などが発表しています。6月の想定外の猛暑は電力の需給逼迫の大きな要因になっていました。国際研究チームは、7月に記録したイギリスの最高気温40度を越す熱波は温暖化で少なくとも10倍起こりやすくなったといっています。また20年以降、オーストラリアや米国のカリフォルニア州の山火事も温暖化が原因であることが報告されています。

生じた大気の「揺らぎ」が重なって初めて発生します。この偶然起こったものの中に温暖化の影響を見出すためには、スーパーコンピュータの計算が必要になります。

鹿児島市 和楽II 展示場 好評公開中!



鹿児島の気候に適した高气密・高断熱と「循環空調」システムの「和」をイメージしたモデルハウス第二弾です。一般家庭用のリビングサイズのエアコンで室内空間のすべてが温度差なく、一年中を快適に過ごせます。高性能樹脂サッシと24時間計画換気で、結露の発生を防ぎ、家族の健康と住宅の高耐久性を実現しました。ZEH基準を標準クリアした外皮性能とハウス・オブ・ザ・イヤー2013で大賞を受賞した公的にも認められた施工技術の粋。外装、内装共にこれまでの松下孝建設とは少し違う趣を感じてください。



鹿児島市中山町 和楽III 建築中! 2023年 OPEN 予定

住宅に関する資料等もフリーダイヤルにてご請求下さい。資料等をお送り致します。 ☎ 0120-079-089